



高鍋高校 100周年

TAKANABE HIGH SCHOOL 100TH ANNIVERSARY

高鍋高校は、大正12年の開校から創立100周年を迎えました。ご自身も高鍋高校の卒業生である篠田俊彦校長先生にお話を伺いました。



社会が急速に変化する時代の中、「黎明～今 大きく変わる時代」をテーマに創立100周年の節目を迎えることができました。これまでの100年にわたる歴史と伝統に思いを馳せ、改めてこの地に脈々と受け継がれる「明倫堂」の精神、そして、「挨拶等を含めた礼儀の良さ」、「我慢強さ」、「目標や夢を諦めないひたむきさ」、「品の良さ」等の「誇り高き高鍋プライド」を未来へと継承して参ります。本校には校訓はありませんが、朝の黙想時に流れる「黙想朗誦の句」、伝統的な「心身学道」と「文武両道」の教え、教育実践時の道しるべとなる「師弟同行」、生徒会によって創られた「集中・機敏・奉仕」のスローガン、校歌の歌詞にある「真善美」等を改めて問い直し、次の100年に向け、青春を謳歌し、新しい時代を主体的に切り拓いていける人材の育成に全校生徒・職員が心を一つにして努力して参る所存であります。どうぞ町民の皆さまの今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

▼高鍋高校公式キャラクター「べこび」



式典

▼11/19に開催された創立100周年記念式典の様子



制服

▼令和5年度からリニューアルされる制服



歴史

高鍋高校の歴史

大正12年	財団法人高鍋中学校開校
昭和9年	宮崎県高鍋中学校発足
昭和23年	学制改革により県立高鍋中学校、県立高鍋高等女学校、県立高鍋農業学校を統合し、県立高鍋高等学校誕生。普通科、家庭科、農業科を置き併設中学校を付す。富田・川南に定時制を置く。
昭和27年	都農校舎を設置し、普通科・別科（農業科・家庭科）を置く。同年、高鍋農業高等学校設置により農業科並びに定時制を同校に移管。
昭和28年	商業科を設置（昭和41年募集停止）。
昭和39年	学科改編により家庭科を家政科に改称
昭和47年	創立50周年記念式典挙行。石井十次先生「帰国途上の所感」の碑建立。
平成4年	創立70周年に際し、校旗新調、平和の梵鐘寄付受入。
平成7年	学科改編により家政科を生活情報科に改称
平成25年	普通科に探究科学コースを新設
平成29年	学科改編により生活情報科を生活文化科に改称
平成31年	普通科探究科学コースを探究科学科へ改編

ラグビー

高鍋高校ラグビー部12年連続で全国大会



高鍋高校ラグビー部は、第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会県予選で優勝し、12年連続30度目の全国大会出場を果たしました。

12月27日に行われた全国大会1回戦では、倉吉東高校(鳥取県)と対戦して66-0で見事快勝し、2年連続初戦を突破しました。12月30日に行わ

れた2回戦では、Aシードの報徳学園高校(兵庫県)と対戦し、序盤に先制しましたが、3-47で残念ながら敗退となりました。檜室秀幸監督は「初戦は確実に押さえるという気持ちで取り組み、練習の成果が出せた。強豪との2回戦では、前半の反則から流れが変わってしまったが、力を出し切り善戦できた。来年度はひたむきにまじめにプレイする選手が多いチームになるので、より練習を重ね、全国で2勝できるように取り組みたい」と意気込みを話されました。本年も、さらなる飛躍とより一層の活躍の年となるよう、応援しています。

障がいがあってもなくてもスポーツを楽しめる社会に

令和4年10月に、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が栃木県で開催されました。この大会で活躍された高鍋町在住の3人にお話を伺いました。

花坂 啓尋さん 男子1部 50メートル 2組 脳原性まひ・その他走可能 金メダル、男子1部 砲丸投げ 1組 金メダル



スポーツを始めたきっかけは？

走ることが好きで、中学生の頃に陸上部に入部したのがきっかけです。最初はジャベリックスロー（やり投げの一種）から始め、高校生の時に砲丸投げをするようになりました。

やりがいは？

いろんな大会に出場し自己記録が出せた時にやりがいを感ずます。また、スポーツを通じていろんな人に出会い、学ぶ中で自分の特性を受け入れることができ、その結果がメダルにつながったと思います。

今後の抱負を教えてください

多くのご縁をもらい成長できているので、皆さんに感謝してスポーツと仕事を両立し、さらに記録を伸ばしていきたいです。また、サッカーでも上を目指し、トップチームのボランティアスタッフ活動も続けていきたいです。

吉村 昌彦さん ボッチャ 肢体不自由 G プール 銀メダル



スポーツを始めたきっかけは？

2018年に脳幹出血で倒れて6カ月入院しました。退院後、障がいがあっても挑戦できるスポーツを探し、ボッチャを始めました。心理戦もあり奥が深い競技で、今にいたるまで続けています。

やりがいは？

とにかくボッチャは楽しく、練習した分だけうまくなるので、毎日やりたいくらいです。また、今までできなかった「ライジング」などの新しい技ができるようになると、とても嬉しいです。

今後の抱負を教えてください

また全スポに出場することが一番の目標です。2027年に宮崎県で開催予定なので、絶対に出場できるように日々練習を続けていきます。その時は金メダルがとりたいです。

佐藤 翔悟さん 男女共通 400メートルリレー 4組 3走 知的障害 銅メダル



スポーツを始めたきっかけは？

小学生の頃に従兄弟に教えてもらった走り方を試し、いつもより速く走れて嬉しかったことがきっかけです。中学校で陸上部に入り、今でも週3～4回走る練習をしています。

やりがいは？

風を切って走ることが楽しく、満足感があります。走り方について、理想である山縣亮太選手を参考にしたり、YouTubeで研究したりして、実践することも楽しいです。

今後の抱負を教えてください

今回はリレーの記録だったので、次は個人でメダルを取るのが目標です。また、今回は100メートル・200メートルでの出場だったので、今後400メートルで出場できるように練習を続けていきます。

就任のご挨拶



小山 圭一 副町長

このたび、令和5年1月1日付けをもちまして、副町長に就任いたしました小山圭一でございます。

宮崎県庁に平成7年に入庁し、約28年の勤務を経まして、自然豊かな歴史と文教の城下町・高鍋町でこのような重責を担わせていただくことに大変感謝しております。

高鍋町は、多くの偉人を輩出された人材の豊かなまちでございます。

国全体で人口減少が進む中、先人の教えをもとに、今後の人材育成や移住定住の促進、関係人口の創出を進めることは急務の課題であるものと認識しております。

微力ではありますが、これまで行政に携わった経験や知識を生かし、職員の皆さんと力を合わせ、黒木町長の補佐役としてさまざまな施策を支えてまいりたいと考えております。

町勢発展のため誠心誠意、精一杯努力してまいりますので、どうぞご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

～ありがとうございました～

宮崎キャノン株式会社から絵本をいただきました



宮崎キャノン株式会社が、同社とグループ企業の職員に使わなくなった絵本を募り、集まった66冊を町内の保育施設に寄贈されました。11月16日に役場において贈呈式が行われ、町内の保育園などに贈られました。

児湯農業協同組合からカーブミラーをいただきました



児湯農業協同組合から町にカーブミラー10基を寄贈され、11月4日に役場において贈呈式が行われました。今後、町内の見通しの悪い場所に設置されます。

TAKANABE TORIYAMA
2022

高鍋城
灯籠
まつり

第22回
高鍋城灯籠まつり
写真コンテスト2022

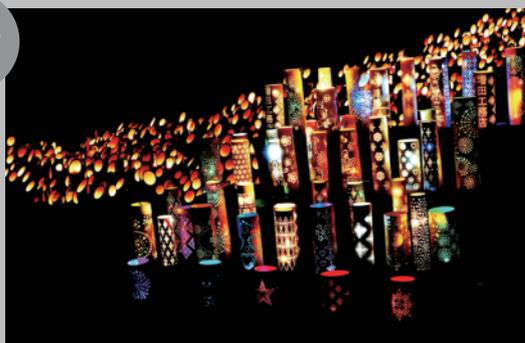
最優秀賞

「心を寄せ合って」
永田公代さん



優秀賞

「共演」
宮崎金男さん



優秀賞

「灯籠と天の川」
安田久美子さん



入選

「明倫の灯り」
上野宏政さん



入選

「競燈」
秋本伸行さん



マチトピ

まちの Topics

～高鍋のさまざまな出来事をご紹介します～



彫刻で本県文化の発展に寄与

本町の彫刻家・田中等さんが県文化賞の文化功労部門を受賞されました。田中さんは、長きにわたり国内外で広く活動し、彫刻の魅力発信を通じて本県文化の発展に寄与されました。



心の居場所の大切さを伝え最優秀賞

第72回「社会を明るくする運動」作文コンテストで高鍋西小6年の橋口琴美さんが最優秀賞の県推進委員会委員長賞を受賞されました。橋口さんは、罪を犯した人が立ち直るための周囲の支えの大切さを語りました。



受賞おめでとうございます

高鍋町レクリエーション協会が、日本レクリエーション協会の令和4年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰の市町村部門を受賞されました。永年の運動普及活動の貢献が認められました。



浸水対策が大きく前進

令和2年度から国と町が取り組んできた、宮越川周辺の内水氾濫による浸水対策事業が完了し、11月23日には、宮越排水機場で完成式が行われました。今後の被害軽減が期待されます。



見事な太鼓演奏で全国大会に出場します

12月28日、第17回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールで最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した和太鼓グループ・舞鶴一座秋月鼓童が町長に大会結果を報告しました。同グループは、3月に石川県で開催される全国大会に九州代表として出場します。



チームでたすきをつなぐ

1月9日、第13回縣市町村対抗駅伝競走大会が行われ、町村の部では16チーム、市郡の部では9チームが参加しました。高鍋町は昨年と同じく8位を記録し、9区を走った假屋玲奈さん（高鍋東小6年）は新記録で区間賞を受賞しました。



" 未来の子供たちのために 子供たちの未来のために "

私たちは住む人と環境を考えた家づくりをしています。



モデルハウス販売中！



WTW MODEL HOUSE
IWAKIRI KENSETSU Presents

モデルハウスの詳細
見学のご予約は...



注文住宅・リフォーム・古民家再生

 **株式会社 岩切建設**

〒 884-0005

児湯郡高鍋町大字持田1582 (高鍋西中学校前)

TEL. 0120-93-0552 FAX. 0983-22-1134

HP



LINE





赤ちゃん写真コーナー！

まちの宝、日本の宝 高鍋の赤ちゃんあつまれ！

赤ちゃんの写真募集中！

詳しくはこちら↓

広報たかなべでは赤ちゃんの写真を募集しています。2歳までならOK！



池田 琥珀ちゃん
(いけだ こはく)



いつでもニコニコ☆
我が家の癒し系
これからも笑顔いっぱいのははくはくしてね

恒吉 源ちゃん
(つねよし げん)



お誕生日おめでとう☆
よく食べ、遊び、笑う源に笑顔
をもらっています！これからも
健やかに大きくなってね！

伊東 楓叶ちゃん
(いとう ふうか)



伊東家に生まれてきてくれ
てありがとう！
家族 3 人で沢山の思い出を
つくろうね

守治橋 妃真ちゃん
(うじはし えま)



あっと言う間に1歳に！
よく食べてよく寝て元気いっぱい
いのえまちゃんでいてね☆

笠原 琥珀ちゃん
(かさはら たいが)



小さく生まれたいけど元気に
育ってくれてありがとう♪
お姉ちゃん達に囲まれて、優
しく遅く大きくなってね！

何でも話せる居場所 オレンジカフェ

オレンジカフェは、認知症の方やその家族、地域の方など、どなたでも気軽に参加できる場所です。童謡などを皆で歌ったり、参加者同士で自由に話したりして楽しむことができます。お茶を飲みながらなんでも話せる息抜きの場所、情報交換の場としてさまざまな方に親しまれています。

コロナ禍で約2年間実施できませんでしたが、11月に久しぶりに開催され、参加者は皆笑顔で交流を楽しまれました。

ぜひお気軽に参加してみませんか。



▲和こころ笹舟でのオレンジカフェの様子

お問い合わせは健康保険課 介護・高齢者福祉係 (☎26-2008)
または、高鍋町地域包括支援センター (☎32-6600) へ。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年、成年年齢が引き下げられ、従来の成人式が「二十歳の集い」に変更になりました。改めて、大人としての自覚を再考する機会を大切にしてもらえればと思います。20歳になった皆さま、改めておめでとうございます。

2023
1
No.440

広報川
たかなべ

KOHO TAKANABE

編集・発行 / 宮崎県高鍋町 (デザイン・構成 / ストロールデザイン)
〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 8437
地域政策課 ☎ 26-2018
*「広報たかなべ」は2カ月に1回、奇数月に発行しています。
町ホームページでもご覧になれます。



↑高鍋町
ホームページ

イベント予定カレンダー (R5年1月 - R5年3月)

1/21 (土)	開運！オルレ 宮崎・小丸川コース 2022 <九州オルレ 宮崎・小丸川コース>
2/5 (日)	第8回高鍋花守山植樹祭 <高鍋大師花守山>
3/5 (日)	第49回舞鶴ロードレース大会 <小丸河川敷広場>

*新型コロナウイルス感染症の状況により変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

高鍋町公式 SNS 一覧

高鍋町

検索

